

和歌山県立文書館での職場体験学習

職場体験学習の概要

和歌山県立文書館では、教育連携活動の一環として、中学生・高校生の職場体験学習・インターンシップの受け入れを行っております。

令和7年度は、10月28日(火)から30日(木)までの3日間で紀伊中学校の生徒3名、11月11日(火)から14日(金)までの4日間で桐蔭中学校の生徒3名の職場体験学習を行いました。

期間中は、古文書の取り扱い方、公文書の整理、

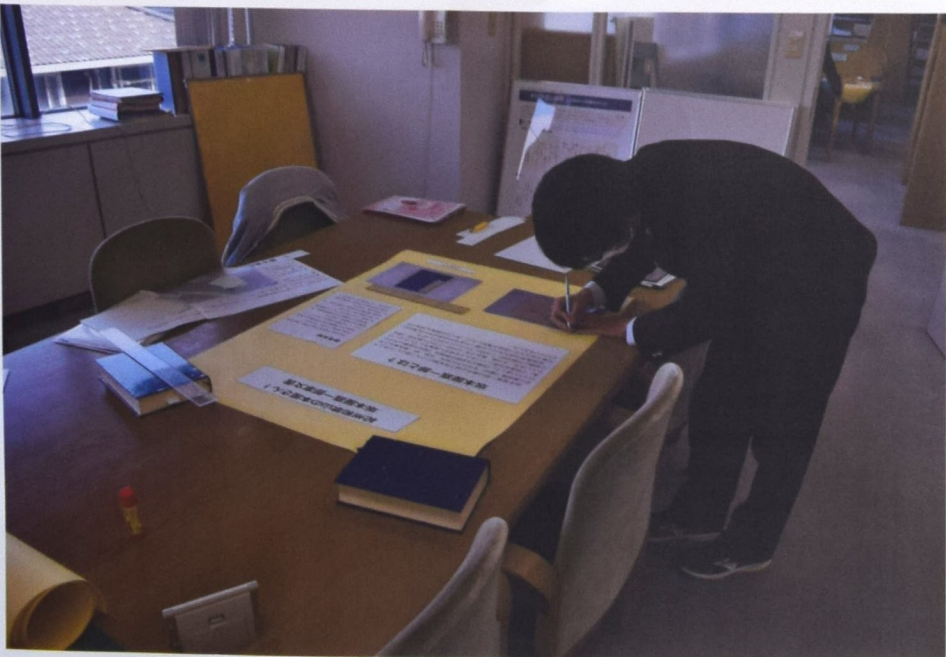
パネル展示(桐蔭中学校生)・ケース展示(紀伊中学校生)の準備等を体験しました。

今回の職場体験学習では、実際に中学生が古文書の撮影や解説文の作成、翻刻の入力を行い、「紀州和歌山の本屋さん！坂本屋喜一郎家文書」と題したパネル展示・ケース展示に取り組みました。

閲覧室でのケース展示には、古文書の原本も展示していますので、あわせてご覧ください。



紀伊中学校職場体験学習のようす



桐蔭中学校職場体験学習のようす

職場体験学習のスケジュール

紀伊中学校

10/28(火)	館内見学 オリエンテーション 公文書の評価選別 授業で使える和歌山の資料の講習
10/29(水)	古文書の取り扱い方法の講習 ケース展示準備(翻刻・キャプションの入力、解説文の作成)
10/30(木)	ケース展示準備(紙パネル作成、古文書の撮影) 振り返り

桐蔭中学校

11/11(火)	館内見学 オリエンテーション 古文書の取り扱い方法の講習 授業で使える和歌山の資料の講習
11/12(水)	公文書の評価選別 古文書の撮影 パネル展示準備(翻刻・キャプションの入力)
11/13(木)	パネル展示準備(解説文の作成)
11/14(金)	パネル展示準備(パネル貼付) 職員へのインタビュー 振り返り

紀伊中学校生徒の感想

古文書などの昔からあるものは博物館で保管されていると今まで思っていたけど、文書館もそれらを収集して、保存・整理して、博物館などに展示貸出しているということを知って、ものすごく驚いたし、スラスラと昔の文字を解読したりしていて、めっちゃくちゃすごいなと感心しました。

あまり知らない歴史上の出来事で文章を作ったりするのがとても難しく時間がかかりました。パネルを切るのも難しかったです。展示する古文書を最初見たときは、意外ときたないと思ったけど、職場体験をして、丁寧に保存をしていたんだと、少し考え方が変化した気がします。もし、家に古文書などの歴史的価値があるものがあったら、この3日間のことをいかしたいです。

今回僕が印象に残ったことは、説明文や、資料を全て手書きで書いたりして、パソコンでやったり、のりパネのような作品を作るのも、業者じゃなくて、文書館に人たちがやってたりしてて、とてもすごかったです。今回は、その貴重なことをさせてもらってとても興味深く感じました。そしてこの仕事は、県や国を守る上でとても大切な職業だと思いました。

桐蔭中学校生徒の感想

私はこの職場体験をさせていただいて、今まで一度も触れたことのなかった古文書や公文書について初めて教えてもらい、さわることができました。文書館は、昔の人の気持ちやそのときに起こったことを肌で感じることができるすごい場所なんだなとわかりました。職員の方には文書のことだけではなく、人生の先輩としてたくさんのことを教えていただきました。これから、学校で文書館のことをたくさんの人に知ってもらえるよう、自分たちが学べたことを共有していきたいです。

古文書を読むことでその人が何を考え、何をしたのかがよく分かりました。それを読み取ることができると自然とその出来事についても知ることができるのでこれからは出来事だけでなく、その背景についても意識しようと思います。パネル展示の準備をするうえで分からない文字や内容がたくさんありましたが、そのときは誰かに聞いたり、他の資料を見たりすることで分からない部分をなくせました。これからも分からないことはすぐに調べる習慣をつけ、いざというときに焦らないようにしたいです。

私はこの4日間、文書館で職場体験をして、「防火設備」や「ねずみ返し」、「古文書の取り扱い、保存」など、先人の経験などを生かした、様々な工夫がされていることを知りました。また、職員の方々の古文書や公文書の管理などへの心構えについても知ることができました。今後、私も何事にも、これまでの経験を思い出しながら、工夫を重ねて行動、対処していきたいと思います。